



森林ふれあい情報

平成24年10月

第24号

中部森林管理局木曾森林環境保全ふれあいセンター

〒397-0001 長野県木曾郡木曾町福島1250-7

TEL:0264(22)2122 FAX:0264(21)3151

E-mail:kiso-fureai@rinya.maff.go.jp

ボランティアによる木曾駒ヶ岳 植生復元事業

中央アルプス木曾駒ヶ岳周辺では、過去の登山者の入り込み増加が誘因と考えられる踏み荒らし等によって、高山植物の荒廃が進行しており、加えて大量の降雨、降雪、強風による砂礫の移動が植生の荒廃に拍車をかけています。

このような植生の衰退を食い止めるため、植生マット敷設による植生復元作業を、ボランティアをはじめ総勢36名で実施しました。



今年度の敷設面積は新規・補修合わせて235㎡で、中岳から駒ヶ岳山頂付近と乗越浄土から八合目(伊那前岳方面)付近で行いました。

本作業は17年度を皮切りに延べ1,395㎡が実行されてきました。

高山帯であり、凍み上がりで根が寸断される等厳しい生育環境であることから、現地の一進一退の状況に一喜一憂しています。現在までの取組みにより砂礫の移動が止まった岩石周りなどは、コロニーの拡大など植生の復元が、見られる所もあります。



採り蒔きの種蒔き風景



実行中



実行後



「木曾川・森づくりin赤沢」を実施

木曾川上・下流住民が森林整備を通じて交流を深める「木曾川・森づくりin赤沢」を、9月8日に赤沢自然休養林等で行いました。

昨年は台風の影響による車道への落石により中止となったため、2年ぶりの開催となりました。

上下流から参加した25名が2班に分かれ、午前午後交代で森林散策を楽しみ、森林整備（間伐）に汗を流しました。

森林散策は、NPO法人木曾ひのきの森及び城山史跡の森倶楽部に依頼した講師の案内により、森林鉄道に乗車した後、自然休養林内の木曾ヒノキ林を植物ガイドを聞きながら歩きました。

森林整備（間伐）は、局指導普及課及び当センター職員による指導により、81年生のヒノキ等人工林の間伐を実施しました。9月に入ったとは言え今年の夏の暑さが残る中、汗を拭きながらの作業となりました。初めて間伐作業を行った参加者も、最初は慣れない手つきでしたが、慣れてくると楽しそうにノコギリを使って作業していました。



安藤指導普及課長による開会のあいさつ



参加者による間伐作業



参加者による間伐作業



森林鉄道への乗車



講師の案内による森林散策



ヒノキ大樹の説明



御神木の説明

普及の取組み

教職員を対象とした森林・林業 体験学習研修会

児童・生徒に森林・林業について理解を深めてもらう目的で、教職員自ら森林を歩き林業を体験する研修会を、長野県地方事務所との共催により、8月2日に南信森林管理署管内で、8月6日に木曾森林管理署管内で実施しました。

8月2日は、上伊那地域の教職員3名の参加により、午前中は元手良公民館長の宮原講師により伊那市手良地区の文化財巡り、午後は手良沢山国有林で間伐体験を実施しました。



講師による八十八観音の説明



自然再生指導官による樹高測定の説明



教職員による間伐

8月6日は、木曾地域の教職員13名、インターンシップ実習生3名の参加により、午前中は木曾出身の教員OBで植物に詳しい、楯講師と羽秋講師の案内により瀬戸川風致探勝林の植物を観察しました。午後は王滝国有林で間伐体験を予定しておりましたが、雷雨により中止せざるを得なくなりました。



講師による植物の説明



参加者の集合写真

支援・連携の取組

史跡の森遊歩道整備支援

7月1日に城山史跡の森倶楽部により、散策される方々に快適に楽しんでいただくため、「史跡の森」遊歩道等の整備が行われました。この日は、長野県林業大学校生4名を含む総勢21名で、遊歩道等の草刈り等の作業を行いました。当センターからも所長が参加して倶楽部をサポートし、下刈鎌を手に遊歩道の整備に汗を流しました。



作業前の説明



林大生による下刈作業

みどりの少年団交流会支援

木曾地域のみどりの少年団が一堂に会し、自然の中で交流を深める木曾地区みどりの少年団交流集会在8月3日、県木曾地方事務所の主催で開催され、当ふれあいセンターも支援として参加しました。この交流会は木曾地域の町村で毎年実施されているもので、今年は木祖村のこだまの森を会場に12団体124名の団員が参加してウォークラリーやベンチ作り等により交流を深めました。



ウォークラリー



ベンチ作り

みよし市友好の森 ふれあいツアー支援

木曾川の恩恵を受けている愛知県みよし市は、平成12年1月に木曾川の水源となる木曾町三岳、御岳黒沢国有林841林班の一部を「友好の森」として取得し、市民がツアーを組んで森林整備に訪れ、水源地域と交流をしています。

今年も9月29日に、市民や親子連れが41名、木曾町からは27名が参加し、関係者を含めて総勢77名で、森林散策を楽しんだり間伐体験に汗を流し、交流を図りました。当センターは木曾森林管理署職員とともに間伐体験の指導や森林散策の講師を担当して支援をしました。



77名が交流

真剣に間伐体験

